



糖尿病と皮膚

現在40歳以上の人のおよそ1割に糖尿病があるとされています。放置すると目や腎臓をはじめ重要な臓器がおかされる恐ろしい病気です。早期発見が大切です。皮膚の症状から糖尿病が見つかることが多くあります。今回は糖尿病に伴ってみられる皮膚病変を集めてみました。気軽に皮膚科専門医にご相談ください。

糖尿病に特徴的な皮膚病変



●糖尿病性水疱

軽い刺激で水疱ができます。



●糖尿病性壊疽

血液の流れが悪くなり、足を切断することもあります。



●類脂質性壊死症

皮下脂肪が変質し硬くなります。



●浮腫性硬化症

首から肩が硬く腫れます。

足の手入れ10カ条

足は壊疽になりやすいので注意しましょう。



- ① 毎日足を観察する。
- ② 足をよく洗い清潔に保つ。
- ③ 小さなけがにも注意する。
- ④ 深爪はしない。
- ⑤ サイズの合った柔らかい靴をはく。
- ⑥ 靴の中の異物は取り除く。
- ⑦ 水虫・ウオノメ・タコは自家療法しない。
- ⑧ 湯タンポ・アンカは使用しない。
- ⑨ 強い消毒剤や薬用せっけんは使用しない。
- ⑩ 禁煙。

糖尿病を疑う皮膚病変



●治りにくい水虫



●ひどいタムシ



ごはん $\frac{1}{2}$ 杯・食パン $\frac{1}{2}$ 枚・タマゴ1個・りんご1個・バナナ1本はそれぞれ80キロカロリー（1単位）です。



●深い帯状疱疹



丹毒



糸癬

●重症の細菌感染症



●脂漏性皮膚炎

軽い糖尿病が見つかることがあります。



11月12日は、皮膚の日です。